



はじめての高級料亭「花外楼」

先日「大阪昆布商工業協同組合」創立15周年を記念し、高級料亭・花外楼で会席料理をいただきました！実は、健康法師は現在この組合の理事長を務めておりまして、私はカメラ係兼務として参加させていただきました。「大阪昆布組合」は現在54社が加盟、うち40社の昆布屋が集まりました。前身である同業会（昭和27年創立）は最盛期の昭和36年ごろには190社が加盟し、今回の組合設立当初（平成13年）は109社でのスタートでしたが、現在では半数になってしまいました。暗い話ばかりでは…と、理事会が今回の会を明るい会にしようと「笑い」を取り入れるべく、「落語家」と「女道楽」を呼んで高級料亭花外楼での食事会となったわけでした。



花外楼は、天保元年創業。明治8年の日本の立憲体制の礎となる「大阪会議」の舞台となった料亭で、伊藤博文・板垣退助・大久保利通らの大物政治家らが終結した縁起の良い料亭とされています。窓の外には土佐堀川が流れ何とも贅沢な風景です。お料理は色とりどりの八寸から始まり、ハモや松茸、すっぽんなど高級な食材を贅沢に使ったもので、絶品でした。



落語家は「笑福亭三蕎」さんに来ていただきました。なんと来年秋には七代目笑福亭松蕎を襲名するというので、かなりすごい方の落語を拝見させていただき、ラッキーでした。お話は「住吉駕籠」。さすがは、落語家！話のテンポが心地よく、落としどころもバッチリ。しっかり笑わせてくれました。

次は少し珍しい女道楽の「内海英華」さん。三味線を片手に歌を披露していただきました。なんとこの方が「松前屋さんとはご縁があるんです…」と話し始めたので、びっくり。彼女は芸人になりたいと考え始めたきっかけとなったのが、当時のテレビ番組「道頓堀アワー」。その提供が松前屋だったそうです。その後、親の助言で一度は就職をすることになった彼女は、高校に募集がきていたある会社へ正社員として就職。その会社というのがなんと松前屋！！彼女は元社員の方だったのです。こんなことってあるんだなあ健康法師もおどろきでした。



素敵なお縁を感じながら、時代の移り変わりの早さと、あと5年後には何社になっているだろうかという不安な気持ちになった会でしたが、厳しい時代を生き残り大阪の味・食文化を伝え続ける者として、頑張っていかなければと気合がはいりました。

本日のカレーコーナー

第五弾は松前屋本店のほど近く、大丸から東へ1ブロック入ったところにある『カレー屋 煦煦(KUKU)』。小皿 KITCHEN cocoro の店舗にてランチタイムのみ営業されている、今流行の「宿借り」カレー屋です。店頭の手立て看板には『3日間煮込んだ自家製カレー』、『1日限定30食』の文字。メインメニューは「自家製カレー」の1本のみで、後は各種トッピングとサラダだけ。中に入ると、奥のカウンター向かいにはシェフっぽい男性がお1人。シェフは心齋橋でバーを経営されており、昼間はこちらを宿借りでカレーランチをされているそうです。

カルテNO.5：『カレー屋 煦煦(KUKU)』～宿借り系欧風カレー～

メモ：あらわれたカレー皿は長計30cmの皿で度肝抜かれる大きさ！でも、ごはんは薄く盛られていて、カレーはさらさらの欧風カレー。意外にペろりといける量に計算されていました。ベースの鶏ガラスープに牛スジを加え、野菜、果実、スパイスで三日間かけての調理だそうです。口に入れた瞬間、フルーティーな甘みとスパイスが来ます。(インディアンカレー系統の甘い！だけど辛い！)唐辛子系の辛味とほのかな苦味も感じられ、調理行程に時間を掛けられたのがよく判るお味です。



余りにも辛いものを食べる気分ではなかったため、「辛い？辛い？」とシェフに聞きまくった挙句、チーズトッピングでマイルドにしようと思いましたが、想定ほどの辛さではなく一安心。インディアンカレーの辛さと比べると、こちらの方が甘口です。



健康法師の独り言 パート 70

この夏は強烈な暑さになるという予報があったり、体重を減らす必要があったり、6月末から筋トレ教室やゴルフレッスン教室などにも通って密かに体を鍛え、ダイエットもするぞーと考えておりました。8月中は危険なのでゴルフの予定はいれず、ひたすら体を鍛え、9月末には強靱な肉体をーと画策していたのですが…。何のことはない。。。

お盆休みに一念発起してお墓も自宅の庭も草引きをしたところ、手のひらに大きな豆を作って大穴が開き、筋トレもできなくなっていました。全治2週間。。これを皮切りに次々と災難沙汰…。頭に『とびひ』ができて抗生物質を投与されると胃を痛め、全治5日間。さらには8月の後半に行った焼き鳥屋の宴会でもらったように、カンピロバクターに犯されて10日ほどの下痢状況が続き、また抗生物質を投与。菌を全部出し切ったであろうところで、今度は下痢を止める薬にチエンジして便秘になるで大わらわ。白血球が2万を超えて、多すぎると心配なのが『白血病』ということで再検査など…。その間、お尻からカメラを入れるなどして、全治2週間。その余波でか、今度は『親知らず』がうずき始めて、抜歯しにくい場所なのでだましました散らすという手法で、抗生物質をまたまた投与。全治4日間。さらには太ももやお腹が痒くて我慢ができないアレルギー1症状が続いて1週間…。やっこの思いで、9月15日をもって通常状態に戻ったという始末でした。思えば一ヶ月も色々あったわけで、長かった…。

体を鍛えたつもりが、どうやら体がへばっていたようで…。

やはり8月の後半ともなると、暑い夏のおかげで体調は下がり気味になっていったようです。この一ヶ月の間に次々と薬を飲んでいただけで、これも体に良いわけがありませんね。体調を崩すと負の連鎖が始まり、よくもまあこんなに色々な症状に次々となるわな、つという難儀な夏の終わりでした。しかし、体重は72.6キロもあつたところが68キロに減りました。こと体重だけをみると8月終了時点での目標を大きくクリア。あまり健全なダイエットとはいえないまでも一応は納得して、次なる目標値に挑むこといたします。教訓：…ダイエットには病気が一番だあ！



カンピロバクター



編集後記

皆さま、今回の通信はいかがでしたか？健康法師は体調不良で大変な夏となってしまったわけですが、皆さまもお体には充分お気を付けください。そして、健康な体で、おいしい食欲の秋を楽しみましょう!!

松村

